



理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にする
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する

排尿障害外来のご紹介

1. 排尿障害と排尿症状

おしっこの調子が悪いことを排尿障害といい、最近では下部尿路機能障害とも呼ばれています。排尿症状には、排尿回数が多い頻尿、尿が漏れてしまう尿失禁、急に尿がしたくてたまらない尿意切迫感などの蓄尿症状と尿が出にくい排尿困難などの症状があります。

2. 排尿症状の原因

膀胱や尿道の器質的な異常による排尿障害と、膀胱と尿道を支配する神経の異常のために生じる神経因性膀胱に大きく分けることができます。前者には男性の排尿困難の原因となる前立腺肥大症や咳などの腹圧に伴って尿がもれる、女性の腹圧性尿失禁などが代表的なものです。後者は脳卒中、パーキンソン病、痴呆のような脳の疾患や脊髄損傷、二分脊椎症のような脊髄疾患や糖尿病、子宮がんや直腸がんなどの骨盤内手術の術後の神経障害に起因したものが代表的な疾患です。高齢者の場合、明らかな神経の病気がなくても加齢によって膀胱機能が低下していることもあります。また、両者の合併例も多く、放置すると尿路感染や腎臓機能障害に至ることもあります。

3. 神経因性膀胱の患者さんは・・・

泌尿器科医の多くは外科的治療が有効な器質的な異常による排尿障害を中心に治療してきており、神経因性膀胱による排尿障害には内服治療のみで、あまり積極的な治療をしていなかったように思われます。しかし、神経因性膀胱による排尿障害の患者さんの方が膀胱機能以外にも運動機能障害を伴うことが多く、排尿症状が著しく生活の質を低下させていることがあります。



4. 排尿障害外来での検査

排尿障害外来ではさまざまな排尿症状に悩んでいる方々に対して、詳しい検査をし、専門的な治療が適切に行われるように、膀胱機能検査（尿流検査、残尿検査、膀胱内圧検査、内圧尿流検査、括約筋筋電図）を取り入れ、さらに特別な患者さんには、多チャンネル、ビデオモニターを駆使した詳細な尿流動態検査も行い、排尿障害の原因と排尿状態を探索しながら適切な治療プログラムを作成していきます。

5. たかの橋中央病院の新しい取り組み

たかの橋中央病院では新しい試みとして、6月より院内と陽だまりの看護師からなる排尿ケアチームを設立し、本人のみならず介護者も含めた排泄にかかわる負担を軽減できるように、入院時より患者さんとともに排尿ケアへの取り組みを開始し、入院治療と外来治療との連携を図れるように整備しております。

6. 排尿障害外来への受診には

排尿症状でお困りの方は、まず、排尿記録（排尿した時刻とその時の排尿量を数日間記録）を付けてみてください。排尿に関する多くの情報となり診察の時に貴重な資料となります。

毎週火曜日(15:00～17:00)、土曜日(10:00～12:00)に予約制の特殊外来を行っていますので、お気軽にご相談下さい。



泌尿器科部長 井上 勝己

七夕飾り



今年も、
たくさんの
患者さまの想いが
込められました。



排尿ケアチームのご紹介



排尿ケアチームの発足

高齢者の日常生活の問題の中で、排尿障害、排便障害をめぐる「排泄」のケアは、日常生活を語る上に避けては通れない問題の一つです。しかしながらこの排泄のケアの現状は、看護、介護の技術が進歩したにもかかわらず、知識や取り組みは不十分で、日本の社会生活レベル・医療レベルから判断しても決して高い水準と言えず、現実的には安易なオムツの使用やカテーテル留置、不適切な排泄のケアが行われていることも少なくありません。排尿障害の原因は泌尿器科領域だけの問題ではなく、ADL(日常生活動作)の低下や慢性疾患の合併症、服薬状況など生活全般に及ぶ為、診療科を超えた連携とケアが必要です。

そこで、今春4月より宮崎大学医学部泌尿器科から当院泌尿器科へ赴任されました井上勝己医師指導のもと、各部署・陽だまりの看護師2名ずつからなる『排尿ケアチーム』を立ち上げました。

排泄のケアのスペシャリストを目指し、日々勉強をしていくつもりです。患者さまには、排泄に関する悩みが少しでも解決できるよう医師とともに関わっていくつもりですので、お気軽にご相談ください。



第30回排尿管理研究会への参加

毎年2回京都で夏と冬に開催されており、今回は7月14日(土)に30回目となる『排尿管理研究会』に当院から医師1名、看護師2名が参加させていただきました。この『排尿管理研究会』は医師、看護師、理学療法士など医療に携わる職種の方はもとより、患者さまも発表を聞くことができる会となっています。

当院の発表内容は、排尿ケアチームを立ち上げ、現在当院の看護師がどのくらい排尿に関する知識があるかアンケートを取った結果と、今後の活動内容について当院での患者さま事例をもとに発表させていただきました。

そのほかにも、他病院、他職種の排尿ケアの現状や関わりについての発表を聞くことができとても勉強になり、当院の排尿ケアも充実したものにしていきたいと思いました。

余談ですが、当日は京都の祇園祭と重なり、華やかな祇園の街を観てくることが出来ました。京都の夏は暑いと聞いていましたが、まさにその通り蒸し暑い日でしたが、いい思い出になりそうです。





高校生1日看護体験



高校生6名が看護体験に来られました。

5階病棟では、人形を使った救急蘇生を実施しました。

まず、看護師2人で発見時の対応から気道確保、心臓マッサージまでの一連の流れのデモンストレーションを行いました。

最初はみんな硬い表情でしたが、少しずつ笑顔が見られるようになりました。

その後、2人で1ペアになってもらい、人形を使って実際に心臓マッサージなど実施してもらいました。

体験を終えて、マッサージには思ったより力があることや、

人形を使っての実施はとても貴重な体験であったと感想がありました。

この体験を通して少しでも、看護師の職業に興味を持ってもらえたら嬉しいなと思います。

5階 看護師



たかの橋ふれあい祭りのお知らせ



日時：2012年10月20日(土)

14:00~17:00

場所：たかの橋中央病院

介護老人保健施設 陽だまり

陽だまりご利用者による作品展示、
名物！ソーラン節、屋台 などなど

ぜひ！お立ち寄りください！
一同、お待ちしております♪

編集後記

まだまだ暑い日が続きますね。一方、朝方は涼しく感じられるようになりました。

今は気温差が激しく体調を崩しやすい時期なので、皆さま体調にはお気をつけくださいね。

福利厚生・広報委員 井上、菅原